

(9) 中学校音楽部会

会長 森 和也 (東中筋中)
副会長 下山 歩 (西土佐中)
事務局 木下 麻里 (中村西中)

1. 研究主題

「聴こう 歌おう 深めよう」

2. 研究経過

| 実施年月日 | 研究のあらまし | 会場 | 備考 |
|----------|---|------------|-----------|
| 5月6日(木) | 四万十市教育研究大会組織総会 ・役員選出 ・研究主題の決定 ・活動計画の作成 | 中村南 小学校 | 組織作り |
| 9月30日(木) | 音楽部会研修会 「音楽科の授業づくり(全面実施された新学習指導要領の学習評価)及び音楽科におけるICT活用とコロナ禍にける音楽授業」について | 東中筋 中学校 | 参加者 8名 |

3. 活動内容

音楽部会研修会

- 目的・・・音楽科の授業づくり(全面実施された新学習指導要領の学習評価)及び音楽科におけるICT活用とコロナ禍にける音楽授業について
- 日程・・・14:00～16:45
- 研修内容
 - ①新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについて
 - ②学習指導と3観点となった評価について
 - ③Chromebook等、ICTを活用した音楽の授業について
 - ④コロナ禍における音楽の授業について(制限された歌唱活動や器楽活動について)

4. 今年度の成果と課題

- 昨年度、音楽科等中学校における技能を中心とした教科が部会としてなくなったが、今年、組織され中学校だけではあるが復活し、研修することができたことは成果である。
- 全面実施された学習指導要領において、悩みであった「学習指導と評価」について共有できたことは成果があった。
- コロナ禍のため、音楽の活動内容等に制限ができ、年間指導計画や題材計画について見直しや工夫を盛り込んだ点があることを知れたことは大いに意味があった。新たな教材開発や活動を関連させた工夫ある題材計画となっていた。
- ICT活用として、Chromebookの具体的な活用や他の機器での授業活用事例が知れて良かった。
- 授業づくり講座の代替として11月に「幡多音楽教育研究会公開授業研究会」に参加できた。
- Chromebookのような学習活動の手だてとなる機器類が導入されると、それを習得する時間もかかりすぎさま授業で活用できにくい状況があるのも事実であり、指導者の技能習得が課題である。
- コロナ禍で歌唱活動や器楽活動に制限があり、十分な演奏活動にならなかった。